

福祉かわら版



福祉かわら版は、市や社会福祉協議会から学区福祉委員会のみなさまにお伝えしたい情報や、学区福祉委員会の活動をしていく上で使えるかも!?という情報をまとめたものです。地域の方にお話しいただいたり、福祉委員会活動のメニューとして取り入れていただいたりとお活用いただければと思います。

不定期で発行していきたいと思っております。 よろしくお願いたします！

ご存じですか？



① ボランティアセンター

ボランティアをしてみたい方、頼みたい方の相談ができます。
ボランティアに関する必要な情報収集やボランティア保険の登録などもできます。
ボランティアセンターには約100のボランティアグループが登録されており、必要に応じて一緒になって地域活動の取り組みへの参加もできます。

まずは社協HP http://home1.catvmics.ne.jp/~oka_sha/
をご覧ください。社協の担当職員へご相談ください。



福祉会館2階、月~金(祝休み)9時~17時15分、TEL21-5377



② 岡崎市メールマガジン

おかざき防災緊急メール「防災くん」

警報情報(大雨・洪水等) 警報情報(大雨・洪水等)、地震情報等
8種類の防災情報を配信します。

防犯情報メールサービス

安全安心課が、不審者情報、安全なまちづくり市民運動などの防犯に関する情報を配信します。

登録方法等詳細は、どちらも岡崎市HPで「メルマガ」と検索してください。パソコン、携帯電話から登録できます。



※ ②の他、愛知県警察の地域安全情報等のメールマガジン「パトネットあいち」のちらしも添付しましたのでご覧ください。

③介護Café出前講座のご案内

地域や職場で「介護や福祉」について楽しく学ぶ講座をみなさんからの要望に応じて企画します。講師は社協から派遣します。

講座メニュー(例)

- : 認知症について
- : 高齢者の福祉サービスについて
- : 車椅子の使い方について
- : 介護の方法

☑今年度実施した講座

- : 『老化に伴う骨の病気 骨粗鬆症』と『骨を強くする体操、背筋を伸ばす体操』
- : 『高齢者の生食住』と介護食の試食
- : 『成年後見制度と任意後見制度』
- : 『遺言と相続の基礎知識』

★職員おすすめの講座

- : 『最後まで孤立死しないために地域でできることは？』
実は他人事ではない孤立死、DVDを見ながら地域で考えてみませんか。



ちょっとお知らせ

◇介護に関する制度

軽度生活支援制度をご存じですか。

65歳以上のひとり暮らし世帯又は、準ずる世帯で、骨折等により日常生活において一時的に支援が必要と認められる方に対し、家事援助を行うホームヘルパー制度です。ただし、介護保険の給付対象者は除かれます。

利用条件がありますので、詳しくは下記までお訪ねください。

◇ヘルパーのお仕事

みなさんのお住まい地域でヘルパーの資格をもち、もう一度その資格を生かし介護業務に就きたいと思っていられる方はいませんか。

社協では登録ヘルパーを随時募集をしています。

お気軽に社協の担当職員へご相談ください。



社会福祉協議会サービスセンター
TEL23-8938

《特集》 今回は消費生活情報です！

消費者庁によると、消費生活相談の件数は平成19年から減少傾向にありますが、そんな中で、70歳以上の方の相談件数は増加しています。

被害を防ぐには、高齢者自身が注意することも大切なことですが、それだけでなく、周りの人たちの見守りが大切です。

日ごろから接している人たちが、変化に気づくことで、トラブルを未然に防いだり、被害の回復を図ったりすることができます。

そして、もしかしてこれは！？と思うことや、困ったことがあったら、

岡崎市消費生活相談室 までご相談を！

TEL 23 - 6459 月～金(祝休み) 9時～16時

○出前講座のお知らせ

市では消費生活派遣講座(出前講座)を行っています。

申込みの詳細は安全安心課にお電話いただくか、岡崎市ホームページの安全安心課または文化活動推進課のページへ。申込書のダウンロードができます。

(講座テーマ)

- ・悪質商法(各種悪質商法の手法、対処方法、解決方法等)
- ・契約(契約の重要性、契約のトラブル等) など

講座の内容はご相談いただけますので、事前に安全安心課にご相談ください。

(TEL23-6219)



★ 講座を受けた方には、ちょっとしたプレゼントがあるかも！？

消費生活被害については、住宅リフォームや健康食品などの訪問販売、浄水器や投資商品などの電話勧誘販売、この他オレオレ詐欺、貴金属の押し買いなどなど、様々な手口があります。

お年寄りと接することの多い福祉委員の皆さんには、ぜひいろいろな事例を知っていただき、機会があれば高齢者の方にお伝えいただければと思います。それにより被害が未然に防げることがあるかもしれません。

具体的な事例などについては、かわら版スクラップ集として情報を載せていますので、そちらもぜひご覧ください。

地域福祉に関する レポート

「地域包括ケア」

高齢者が、住み慣れた地域でその人らしい生活を続けていくため、地域の見守りから専門的なサービスまで、その人の状態の変化に応じて切れ目なく介護予防、介護、医療、住まい、生活支援のサービスが提供されること。

「コミュニティビジネス」

地域の課題を地域住民が主体的に、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み。形態としてはNPO法人、個人、会社組織など。

地域全体の利益を考え、事業を進めることによって地域の協働が進みます。

おすすめの本

『孤立死

あなたは大丈夫ですか？』

吉田 太一（扶桑社）

日本初の遺品整理専門会社「キーパーズ」を設立した著者が、遺品整理の現場から得た体験をもとに、孤立死の問題に対し、われわれがどう生きるべきなのかを読者に語ります。

介護café出前講座のおススメ講座で利用するDVDの内容もコミック化して収録しています。



<職員コラム ～編集 好機!～>

“第6回全国校区・小地域福祉活動サミットinKOBEひょうご”に参加してきました。

1月12日(土)晴天のもと神戸国際展示場で開催されました。一般参加者3,250名、スタッフ、ボランティア等679名、総数3,929名の大々的なサミットでした。地域で福祉活動に取り組む方、地域の福祉活動を支援している方が全国から参加され、まさに「地域福祉」を考える一日でした。

「基調講演～シンポジウム～分科会」のプログラムでは、18年前の阪神淡路大震災から学び、地域のつながりを形にし活動を広げてきた事例や、東日本大震災の発災から2年でようやくできるようになってきたこと、そしてこれから……と、どんな状況でも「無縁社会」をつくらないための“たすけあい”“つながり”“地域力”といった昔ながらの「縁」や新しいスタイルで紡ぐ「縁」から生まれる地域福祉活動の可能性をみんな考えていく内容でした。小中学校区、自治会や町内会などでの小地域福祉活動にスポットをあてた全国大会で、参加されたみなさまの熱意に元気とパワーをもらいました。第7回は11月に三重県で開催されます。

(社協 平野)

<発行> 岡崎市 福祉総務課 ・ 岡崎市社会福祉協議会

23-6922

23-8938